

今月のことば

私の願いは
自己中の願い
眞実の願いに
耳を傾けよう

(小池秀章
『現代のことばで味わう
日めくり歎異抄』より)

次のような童話に出会いました。

「ある村に、聞く地蔵（何でも願い事を叶えてくれる地蔵）と、聞かぬ地蔵（何も願い事を叶えてくれない地蔵）という、二つのお地蔵様がありました。聞く地蔵様は、願い事を何でも叶えてくれるので、村中の人人が、健康で金持ちになり、みんなが幸せになりました。」

ところが、みんなが幸せになると、多くの人が、『他の人よりも、もっと幸せになりたい』と思うようになりました。そして、周りの人の不幸を願うようになりました。聞く地蔵様は、そんな願いも全て叶えてくれるので、村は悲惨な状況になりました。やつと目が覚めた村人たちは、聞かぬ地蔵様にお参りするようになりました。何も叶えてくれない地蔵様なので、何も願うことなく、ただ何んで帰りました。聞かぬ地蔵様に見守られて過ごした村人は、やがて落ち着きを取り戻し、平和な村にもどったということです」（宇野浩一『聞く地蔵と聞かぬ地蔵』参照）

とても恐い童話でした。私の願いは、突き詰めれば、自己中心の願いです。しかし、すべての人の幸せを願つていてくださる方がいます。それが阿弥陀さまなのです。阿弥陀さまは、自己中心の願いから離れられない私たちのことを心配し、みんなが幸せになれるようにと願つていてくださるので。そんな眞実の願いに遭遇った時、自己中心の願いしか持てない自らの在り方が問われると同時に、新しい生き方が生まれるのです。どんな生き方が出来るかは人それぞれですが、今までとは違った世界が開けてくるのです。

龍谷大学非常勤講師 小池秀章

合掌